

要望書

令和二年七月三十一日、「がんばろう！ 東北」をテーマに
次の通り、要望事項を採択いたしました。
善処くださいますようお願いいたします。

令和二年 月 日

「東北の社会資本整備を考える会」

(二社)東北経済連合会会長 海輪 誠

東北六県商工会議所連合会会長 鎌田 宏

東北・北海道中小企業団体中央会
連絡協議会会長 佐藤 勘三郎

東北六県・北海道商工会連合会
連絡協議会会長 村岡 淑郎

東北建設業協会連合会会長 千葉 嘉春



東日本大震災の「復興・創生期間」の最終年度に入り、今年度は石巻南浜津波復興記念公園の完成、来年には復興道路・復興支援道路の全線開通が予定されているなど、ハード面の整備は総仕上げの段階を迎えている。しかしながら、風評被害や被災地の中小企業の経営再建など、依然多くの課題が残されており、東北の復興は未だ道半ばの状況である。

加えて、昨年十月には台風十九号が東北を直撃し、河川堤防が決壊するなど広範囲に亘り甚大な被害をもたらした。今年に入ってから、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大がわが国経済・社会に深刻な影響を及ぼしているとともに、東北においては、活発な前線に伴う豪雨により再び河川氾濫などの被害が発生しており、東日本大震災や台風十九号被害からの復興に冷や水を浴びせられた状況にある。

東日本大震災以降、大型台風などによる災害が相次ぎ、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震の発生も危惧されている。こうした大規模自然災害に備えるためにも、防災・減災、国土強靱化に資する社会資本整備を進めるとともに、防災先進圏域として、東日本大震災などで得られた数々の教訓を次の世代へ確実に伝承し、防災力強化および地域活性化につなげていく必要がある。

また、日本海側の縦軸や日本海側と太平洋側を結ぶ横軸の未整備などから、東北域内の地域間格差が顕在化してきている。このため、高規格幹線道路・地域高規格道路の早期整備によりミッシングリンクを解消し、両地域の相互ネットワーク化を図っていく必要がある。併せて、高度成長期に整備され老朽化が進んでいる社会資本の長寿命化に向けて、継続的な公共投資が不可欠である。

さらに、東北は全国で最も早く人口減少・少子高齢化が進行し、生産年齢人口の減少による担い手不足や生産性の低下などが大きな課題となっている。

今後、経済活動の生産性向上や地元雇用の創出によって地域経済の活性化を図り、東北全体の持続的な発展を実現するためには、東北圏広域地方計画や東北ブロックにおける社会資本整備重点計画を踏まえつつ、地域住民が安全・安心に暮らしていける強靱な国土をつくり、産業・観光振興などに資するストック効果の高い社会資本整備が重要である。

よって、次に述べる事項について、広くご理解を求めるものである。

- 一、新型コロナウイルスの感染収束後、官民を挙げた経済のV字回復に向けて、港湾・空港等のウイルス感染症対策への支援を含めた必要な社会資本整備予算の確保と、機動的な公共投資を推進すること。
- 一、被災地の着実な復興に向けて、「復興・創生期間」後を見据えた予算を確保すること。また、復興予算を除いて激減している東北全体の社会資本整備予算を戻すこと。
- 一、昨今の気象災害の激甚化などを踏まえ、国民の命と暮らしを守る防災・減災対策や国土強靱化を推進し、令和二年度で終了する「防災・減災、国土強靱化のための三カ年緊急対策」に続く制度構築と、通常予算とは別枠で予算措置を講ずること。
- 一、「東北は一つ」の理念のもと、地域間格差の是正を図るために、高規格幹線道路・地域高規格道路の早期整備によりミッシングリンクを解消し、日本海・太平洋二面活用強化やストック効果の最大化に資すること。併せて、予防保全の観点から、社会資本の老朽化対策として戦略的な維持管理・更新などを推進すること。
- 一、東日本大震災の教訓が風化しないよう、産学官民が連携して震災伝承に取り組み、いくとも、これらを通じて、今後も社会資本整備が果たす役割の理解や防災意識の高揚を図ること。
- 一、社会資本の整備・管理に加え、災害発生時の迅速かつ円滑な対応などのため、国等関係機関において現場に必要な人員や体制の維持・充実を図ること。
- 一、人口減少下において持続的で力強い経済成長を促すため、最新技術の導入や働き方改革の推進などにより、建設業の担い手確保や生産性向上に資する支援を継続的に講じること。